

	令和5年度行政事業レビューシート					(文部科学省)		
事業名	地球観測に関する政府間会合（GEO）			担当部局庁	研究開発局		作成責任者	
事業開始年度	平成18年度	事業終了 (予定)年度	終了予定なし	担当課室	環境エネルギー課		環境エネルギー課長 轟 涉	
会計区分	一般会計							
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-			関係する 計画、通知等	第6期科学技術・イノベーション基本計画(令和3年3月閣議決定) 宇宙基本計画(令和2年6月閣議決定) 「GEO戦略計画2016－2025」(平成27年11月GEO閣僚級会合承認) 統合イノベーション戦略2021(令和3年6月閣議決定) パリ協定に基づく成長戦略としての長期戦略(令和3年10月閣議決定) 革新的環境イノベーション戦略(令和2年1月統合イノベーション戦略推進会議決定)			
政策	9 未来社会に向けた価値創出の取組と経済・社会的課題への対応			主要経費	科学技術振興費			
施策	9-2 環境・エネルギーに関する課題への対応							
政策体系・評価書URL	https://www.mext.go.jp/content/20211220-mxt_kanseisk02-000019646_9-2.pdf							
事業の目的 (5行程度以内)	地球観測に関する政府間会合（GEO）への参画を通じて、地球観測データ等をオープン＆フリーで共有・活用することを促進するとともに、我が国の地球観測並びにデータ利活用に係る研究開発成果や国際貢献事例をアピールし、我が国の地球観測に関する国際的なプレゼンス向上を目指す。							
現状・課題 (5行程度以内)	地球観測に関する政府間会合（GEO）は、「GEO戦略計画2016－2025」に基づき、各国の衛星、海洋、地上等の地球観測データやそれらを活用して得られた情報などの分野・領域横断的なデータへのアクセス及び幅広いユーザへの提供を可能とする全球地球観測システム（GEOSS）を国際協力の下で構築し、情報の需要と供給を橋渡しする活動を通じて、SDGs、気候変動、防災、都市の強靱化等の地球規模課題の解決に貢献することを目指している。							
事業概要 (5行程度以内)	GEOは政府間会合として、参加国間で地球観測データ等を共有する基盤（例：GEOSS Portal）の構築及びデータ共有・管理等のためのルール形成を行うことで、各国・機関の取得した地球観測データ等をオープン＆フリーで共有することを促進している。また、これら地球観測データ等を活用して実際の課題解決に資する分野別の活動（GEO Work Programme）等を通して、多様なステークホルダーやコミュニティと連携し、ユーザ、データ提供者及び科学者等の専門知を統合している。令和5年5月現在、GEOには114の国・地域がメンバー国として参画し、144の連携機関と協働して地球観測データの共有、利活用、能力開発等の活動が行われている。さらにはGEOの枠組みの下、地球観測サミット（GEO閣僚級会合）、GEO本会合、GEO執行委員国会議及びプログラム委員会等が開催され、世界気象機関（WMO）本部内に設置されているGEO事務局が、各種会議の開催、関係国・機関間の調整や各種サポートを実施している。本事業は日本からの拠出金としてGEOの運営に係る経費を拠出するものである。							
事業概要URL	https://www.earthobservations.org/index.php							
実施方法	直接実施							
補助率等	-							
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求	
	予算の 状況	当初予算(A)	57	58	61	73	73	
		補正予算(B)	-	-	-	-		
						-		
						-		
						-		
						-		
						-		
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-	
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-		
		予備費等(E)	-	-	-	-		
	計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	57	58	61	73	73		
	執行額(G)		57	58	60.7			
	執行率(%) =(G)/(F)		100%	100%	100%			
	当初予算＋補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]		100%	100%	100%			
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)			
	(項)		研究開発推進費					
		(目)	地球観測政府間会合拠出金	73				73
			その他					
	計(A)		73	73				

活動内容① (アクティビティ)		GEOへの拠出金の支出や人的資源の提供及びGEOIにおける各種会合の開催・出席を通じて、「GEO戦略計画2016－2025」に基づくGEOの活動を推進するとともに、我が国の地球観測並びにデータ利活用に係る研究開発成果・国際貢献により、プレゼンスの向上を図る。								
↓										
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		GEOへの拠出金の支出や、GEOIにおける各種会合の開催または出席。	GEO閣僚級会合、GEO本会合、GEO執行委員会、アジアオセアニア地域GEOシンポジウムの開催回数(回)	活動実績	回	5	5	5	－	－
				当初見込み	回	5	5	5	6	5
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプットからのつながり)	GEOにおける我が国の研究開発成果等の国際貢献事例のアピール成果を評価するため、GEO本会合(メインセッション)やアジアオセアニア地域GEOシンポジウム等のプログラムにおいて、我が国の地球観測並びにデータ利活用に係る研究開発成果及び国際貢献事例を報告した登壇者数を成果目標に設定する。								
成果目標及び成果実績 ①-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 7 年度	
		GEO本会合やアジアオセアニア地域GEOシンポジウム等における我が国の地球観測並びにデータ利活用に係る研究開発成果や国際貢献事例の普及を通じたプレゼンスの向上。	GEO本会合やアジアオセアニア地域GEOシンポジウム等における日本人等の登壇者数(人)	成果実績	人	11	11	12	－	
				目標値	人	13	13	13	13	
				達成度	%	84.6	84.6	92.3	－	
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		文部科学省調べ								
↓	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカムからのつながり)	「GEO戦略計画2016－2025」に基づき、我が国の国益に即した形でGEOの活動を推進できているか評価するため、GEOにおける地球観測データ共有及び利活用に係る取組みの具体化・方向付け等、特にGEOの中核を担う組織・会議体※に参加する日本人数を成果目標に設定する。 ※GEO事務局/アジアオセアニア地域GEO調整委員会共同議長/GEO専門家委員会								
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 7 年度	
		GEO事務局、GEO専門家委員会及びAOGEO調整委員会において共同議長等に日本人が年5人以上任命される。	GEO事務局、GEO専門家委員会及びAOGEO調整委員会共同議長等における日本人の数(人)	成果実績	人	4	5	5	－	
				目標値	人	5	5	5	5	
				達成度	%	80	100	100	－	
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		文部科学省調べ								
アウトカム設定についての説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由								
		－								
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由								
		－								

事業に関連する KPIが定められて いる閣議決定等	名称	-																												
	URL	-																												
	該当箇所	-																												
事業所管部局による点検・改善																														
点検結果	・GEO執行委員国会議において、GEOの運営方針を決定するとともに、拠出金の運用及び財務状況を詳細に確認。 ・GEO事務局に対する会計検査が行われており、適切な会計の執行を確認。 ・GEOの運営方針に対する我が国の対応については、科学技術・学術審議会研究計画・評価分科会地球観測推進部会等の有識者からの意見を踏まえ、決定。																		目標年度における効果測定に関する評価（令和8年度実施）											
																			-											
改善の 方向性	上記の点検結果を踏まえつつ、引き続き、本事業の目的を達成するため、予算を効果的かつ適切に執行していく。																													
外部有識者の所見																														
外部有識者による点検対象外																														
行政事業レビュー推進チームの所見に至る過程及び所見																														
現状通り	この事業は、事業所管部局による自己点検及び行政事業レビュー推進チームによる点検の結果を踏まえ、特段の見直しは要しないものと考えられる。																													
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況																														
現状通り	-																													
過去に受けた指摘事項 と対応状況	公開プロセス・秋の年次公開検証（秋のレビュー）における取りまとめ																													
	-																													
	上記への対応状況																													
	-																													
	その他の指摘事項																													
	-																													
	上記への対応状況																													
-																														
備考																														
-																														
関連する過去のレビューシートの事業番号																														
平成23年度	273																													
平成24年度	292																													
平成25年度	252																													
平成26年度	253																													
平成27年度	242																													
平成28年度	235																													
平成29年度	241																													
平成30年度	240																													
令和元年度	文部科学省	-			0234																									
令和2年度	文部科学省				0236																									
令和3年度	2021	文科		20	0258																									
令和4年度	2022	文科		21	0259																									

資金の流れ
(資金の受け取り先が
何を行っているかにつ
いて補足する)
(単位：百万円)

文部科学省
61百万円

地球観測に関する政府間会合(GEO)への拠出を実施



A. 地球観測に関する政府間会合(GEO)事務局
61百万円

全球地球観測システム(GEOSS)の構築推進のための、会議開催や作業計画の素案の策定及び各種調査等の各種サポートを行うための経費

費目・使途
(「資金の流れ」において
ブロックごとに最大の金
額が支出されている者につ
いて記載する。費目と
使途の双方で実情が分
かるように記載)

A.			B.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
地球観測政府間会合拠出金	地球観測に関する政府間会合(GEO)事務局の活動に資する経費	61			
計		61	計		

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

チェック

